六三五	ンビアとの租税(所得)条約	r E	ンビー	÷ť	
		į	7	ŝ	
六四五	企業の利得	条	六	第	
六四四	不動産に係る所得	条	Ŧi.	第	
六四二	恒久的施設	条	四	第	
六四一	綿約国の居住者	条	Ξ	第	
六四〇	定義	条		第	
六三九	対象となる租税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	条	<u> </u>	第	
六三九		文		前	
$\langle - \rangle$	次	目			
効力 発 、 条 約 第 一 号 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	昭和四十六年 一 月二十三日 昭和四十六年 一 月 十一 日 昭和四十五年十二月 二十 日 昭和四十五年 二 月 十一 日 昭和四十五年 二 月 十一 日 昭和四十五年 二 月 十一 日	II	称	(略 称)	
	◎所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国と	ア対サる	ビに	ザ <u></u> 所 ン 得	

ザ
$\boldsymbol{\Sigma}$
ビ
P
と
の
租
税
(所得
. Ta
条約

六四七	
六四七	
六四六	
六三六	

ザンビアとの租税	(所得)条約	六三六
第七条	船舶又は航空機に係る利得	六四六
第八条	特殊関係企業に係る利得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	六四七
第九条	配当	六四七
第 十 条	利子	六四八
第 十一 条	使用料	六五〇
第 十二 条	襄渡収益	六五二
第 十三 条	自由職業所得	六五三
第 十四 条	勤務に関する報酬	六五三
第 十五 条	役員報酬	六五四
第十六条	芸能人及び運動家の所得	六五五
第 十七 条	退職年金等	六五五
第十八条	公務遂行に係る報酬	六五五
第 十九 条	教授又は教員に係る報酬	六五六
第二十条	学生又は事業修習者への給付金等	六五七
第二十一条	その他の所得	六五七
第二十二条	重課税の排除方法	六五八
第二十三条	課税に関する内国民待遇	六 五 九
第二十四条	情報の交換	六六
第二十五条	不服申立て及び両国当局間の協議	六六一

六六六	日本側書簡
六六五	経済開発を促進するための特別の奨励措置
六六五	ザンビア側書簡
六六五	○ ザンビアの経済開発を促進するための特別の奨励措置に関する交換公文
六六三	来 文
六六三	第二十八条 条約の終了及び適用範囲
六六三	第二十七条 承認、効力発生及び適用の開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
六六二	第二十六条 外交官及び領事官の特権

六三七

(以下「日	(c) 住民税	(1) 法人税	(a) 所得税	日本国においては、	る租税 (1) この条約の対対象とな (1) この条約の対	第一条	次のとおり協定した。	締	前 文一 日本国及びザン	国とザンゴ
(以下「日本国の租税」という?				いては、	この条約の対象である租税は、次のものとする。		定した。	希望して、祖親税を回避するための条約を	日本国及びザンビア共和国は、	国とザンビア共和国との間の条約
(hereinafter re tax").	(c) the local i	(b) the corpora	(a) the income	In Japan:	(1) The taxes whic Convention are:		Have agreed as	Desiring to con avoidance of doubl taxes on income,	Japan and the R	

所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本

OF ZAMBIA FOR THE AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION WITH RESPECT TO TAXES ON INCOME CONVENTION BETWEEN JAPAN AND THE REPUBLIC

ザンビアとの租税(所得)条約

(2)

(b) (a)

ザ

ンビアにおいては、

所得税 人頭税

六三九

この条約は、(1)に掲げる租税と実質的に類似の租税で、こ (以下「ザンビアの租税」という。) (2) This Convention shall also apply to taxes substantially similar to those covered by (a) the income tax; and In Zambia: (hereinafter referred to as "Zambian tax"). (b) the personal levy eferred to as "Japanese" inhabitant taxes ation tax; and ch are the subject of this nclude a Convention for the Republic of Zambia, le taxation with respect to tax; follows: Article 1

ザ
\sim
ビ
P
と
の
租税
-176
(所得)
条約

六四〇

							義		
締約国の居住者が営む企業をいう。 は、それぞれ一方の締約国の居住者が営む企業及び他方の の「一方の締約国の企業」及び「他方の締約国の企業」と	格を有する団体として取り扱われる団体をいう。()「法人」とは、法人格を有する団体又は租税に関し法人	() 「者」には、法人及び法人以外の社団を含む。(************************************	の祖説をへう。 の祖説をへう。	り、日本国又はザンビアをいう。()「一方の締約国」及び「他方の締約国」とは、文脈によ	し 「ザンビア」とは、ザンビア共和国をいう。	の租税に関する法令が施行されているすべての領域をいう。 (a) 「日本国」とは、地理的意味で用いる場合には、日本国	まか、⑴ この条約において、文脈により別に解釈すべき場合を除く	第二条	その改正後の妥当な期間内に、相互に通知するものとする。ある当局は、それぞれの国の税法について行なわれた改正を、られるものについても、また、適用する。両締約国の権限のの条約の署名の日の後にいずれか一方の締約国において設け
(g) The terms "enterprise of a Contracting State" and "enterprise of the other Con- tracting State" mean respectively an enterprise carried on by a resident of a	(f) The term "company" means any body corporate or any entity which is treated as a body corporate for tax purposes;	(e) The term "person" includes a company and any other body of persons;	(d) The term "tax" means Japanese tax or Zambian tax, as the context requires;	(c) The terms "a Contracting State" and "the other Contracting State" mean Japan or Zambia, as the context requires;	(b) The term "Zambia" means the Republic of Zambia;	(a) The term "Japan", when used in a geo- graphical sense, means all the territory in which the laws relating to Japanese tax are in force;	(1) In this Convention, unless the context otherwise requires:	Article 2	paragraph (1) which are introduced in either Contracting State after the date of signature of this Convention. The competent authorities of the Contracting States shall notify to each other any changes which have been made in their respective taxation laws within a rea- sonable period of time after such changes.

定

居 結約 国の

(1)(2)(3)(2)(h) 法令上有する意義を有するものとする。 除くほか、 外 定義されていない用語は、文脈により別に解釈すべき場合を の ては、 れる者をいう。 により当該一方の締約国において課税を受けるべきものとさ たる事務所の所在地、 方の 個 又は権限を与えられたその代理者をいい、ザンビアについ (1)の規定によつて双方の締約国の居住者となる個人につい ては、 Ø (1)この条約の適 方の締約国においてこの条約を適用する場合には、 ものは、その者の本店又は主たる事務所が存在する締約 の規定によつて双方の締約国の居住者となる者で個人以 人が居住者であるとみなされる締約国を決定する。 締約国の法令の下において、住所、 権 第三条 権限のある当局は、 税務長官又は権限を与えられたその代理者をいう。 限のある当局」とは、日本国については、 この条約が適用される租税に関するその締約国の 用上、 「一方の締約国の居住者」とは、 管理の場所その他これらに類する基準 合意により、 この条約の適用上そ 居所、 本店又は主 大蔵大臣 特に 当該 State relating to the taxes to which this it has under the laws of that Contracting otherwise requires, have the meaning which otherwise defined shall, unless the context vention in a Contracting State, Convention applies. (2) As regards the application of this Convidual is a resident of both Contracting paragraph (1) an individual is a resident of of head or main office, place of management by reason of his domicile, tracting State, any person who, under the law of that Conterm "resident of a Contracting State" means (1) For the purposes of this Convention, the paragraph (1) a person other than an indiindividual shall be deemed to be a resident ment the Contracting State of which that authorities shall determine by mutual agreeboth Contracting States, then the competent or any other criterion of a similar nature. for the purposes of this Convention. (3) Where by reason of the provisions of (2) Where by reason of the provisions of sioner of Taxes or his authorized repreand, in the case of Zambia, the Commis-Finance or his authorized representative. State; sentative. in the case of Japan, the Minister of (h) The term "competent authority" on by a resident of the other Contracting is liable to taxation therein Article :.. residence, place any term not means,

Contracting State and an enterprise carried

ザンビアとの租税(所得)条約

六四一

設佰

										[入 的 施		
又は引き渡すため、施設を使用すること。(金業に属する物品又は商品をもつばら保管し、展示し、	とする。(3) 「恒久的施設」については、次のことは、含まれないもの	月をこえる期間存続するもの()建築工事現場又は建設若しくは組立ての工事で、十二箇	(1) 鉱山、採石場その他天然資源を採取する場所	(e) 作業場	(d) 工場	(c) 事務所	(b) 支店	(a) 管理所	② 「恒久的施設」には、特に、次のものを含む。	ものをいう。(1) この条約の適用上、「恒久的施設」とは、事業を行なう一	第四条	国の居住者とみなす。
(a) the use of facilities solely for the purpose of storage, display or delivery of goods or merchandise belonging to the enterprise;	(3) The term "permanent establishment" shall not be deemed to include:	(g) a building site or construction or assembly project which exists for more than twelve months.	(f) a mine, quarry or other place of extraction of natural resources;	(e) a workshop;	(d) a factory;	(c) an office;	(b) a branch;	(a) a place of management;	(2) The term "permanent establishment" includes especially:	(1) For the purposes of this Convention, the term "permanent establishment" means a fixed place of business in which the business of the enterprise is wholly or partly carried on.	Article 4	States, then it shall be deemed to be a resident of the Contracting State in which its head or main office is situated.

ザンビアとの租税(所得)条約

六四二

うものを通じて他方の締約国内で事業活動を行なつていると有する代理人でこれらの者としての業務を通常の方法で行な() 一方の締約国の企業は、仲立人、問屋その他独立の地位を	入することに限られる場合は、この限りでない。ただし、その者の行動が当該企業のために物品又は商品を購着(⑤の規定が適用される独立の地位を有する代理人を除く。)(4)一方の締約国内で他方の統約国の企業に代わつて行動する	なうため、事業を行なう一定の場所を保有すること。はこれらに類する準備的若しくは補助的な性質の活動を行し、企業のためにもつばら広告、情報の提供、科学的調査又	こと。 ないかいてい ううせい ういに しん しん こうしん ういん ういん ういん ういん ういん ういん ういしん ういん ういしん ういし	による加工のため、保有すること。() 企業に属する物品又は商品の在庫を、もつばら他の企業	展示し、又は引き渡すため、保有すること。 ゆ 企業に属する物品又は商品の在庫を、もつばら保管し、
(5) An enterprise of a Contracting State shall not be deemed to have a permanent establishment in the other Contracting State merely because it carries on business in	(4) A person acting in a Contracting State on behalf of an enterprise of the other Contracting State other than an agent of an independent status to whom paragraph (5) applies shall be deemed to be a permanent establishment in the first- mentioned Contracting State if he has, and habitually exercises in that Contracting State, an authority to conclude contracts in the name of the enterprise, unless his activities are limited to the purchase of goods or merchandise for the enterprise.	(e) the maintenance of a fixed place of business solely for the purpose of advertising, for the supply of infor- mation, for scientific research or for similar activities which have a pre- paratory or auxiliary character, for the enterprise.	(d) the maintenance of a fixed place of business solely for the purpose of pur- chasing goods or merchandise, or for collecting information, for the enter- prise;	(c) the maintenance of a stock of goods or merchandise belonging to the enterprise solely for the purpose of processing by another enterprise;	(b) the maintenance of a stock of goods or merchandise belonging to the enterprise solely for the purpose of storage, display or delivery;

六四三

ザンビアとの租税(所得)条約

係る所得

得企業 の利

第六条

(1)課 られる部分につい う場合には、 課 業を行なわない限り、 締 にある恒久的施設を通じて当該他方の締約国内で事業を行な することができる。 することができる。 約国内にある恒久的施設 一方の締 約国の企業の利得に対しては、 その企業の利得に対し、 てのみ、 一方の締 当該 当該他方の締約国において租税を を通じて当該他方の締約国内で事 _. 方の締 |約国の企業が他方の締 約国にお 当該恒久的施設に帰せ その企業が他方の 5 てのみ租税を 約国 内

(2)得 国において、 通じて当該他方の締約国内で事業を行なう場合には、 は類似の活動を行ない、 業であるとすれば、 が、当該恒久的施設に帰せられるものとする。 一方の締約国の企業が他 全く独立の立場で、 当該恒久的施設が同一又は類似の条件で同一又 当該恒久的施設が取得するとみられる利 かつ、 取引を行なう別個の 一方の 当該恒久的施設を有する企業 締約国内にある恒久的施 かつ分離した企 各締約 認設を

で生じたかを問わず、経費に算入することを認められるものその恒久的施設が存在する締約国内で生じたか又は他の場所管理費を含む費用で、その恒久的施設のために生じたものは、(3) 恒久的施設の利得を決定するに際しては、経営費及び一般

ザンビアとの租税(所得)条約

とする。

apply to income derived from the direct use. letting, or use in any other form of immovable property.

式による使用から生ずる所得について適用する。

Article 6

(1) The profits of an enterprise of a Contracting State shall be taxable only in that Contracting State unless the enterprise carries on business in the other Contracting State through a permanent establishment situated therein. If the enterprise carries on business as a foresaid, the profits of the enterprise may be taxed in the other Contracting State but only so much of them as is attributable to that permanent establishment.

(2) Where an enterprise of a Contracting State carries on business in the other Contracting State through a permanent establishment situated therein, there shall in each Contracting State be attributed to that permanent establishment the profits which it might be expected to make if it were a distinct and separate enterprise engaged in the same or similar activities under the same or similar conditions and dealing wholly independently with the enterprise of which it is a permanent establishment.

(3) In the determination of the profits of a permanent establishment, there shall be allowed as deductions expenses which are incurred for the purposes of the permanent establishment including executive and general administrative expenses so incurred, whether in the Contracting State in which the permanent establishment is situated or clsewhere.

六四五

τ.

六四六

係航船 る空舶 利機又 得には					
いてのみ租税を課することができる。ことによつて取得する利得に対しては、当該一方の締約国にお一方の締約国の企業が船舶又は航空機を国際運輸に運用する	第七条	よつて影響されることはない。 に含まれる場合には、これらの条の規定は、この条の規定に (7) 他の条で別個に取り扱われている種類の所得が企業の利得の 四時とったい	まのは(1)	られることはない。購入を理由としては、いかなる利得もその恒久的施設に帰せの、恒久的施設が企業のために行なつた物品又は商品の単なる	 (4) ②の規定は、恒久的施設に帰せられるべき利得を企業の利 (4) ③の規定は、恒久的施設に帰せられるべき利得を全変の利得を金業の利
Profits from the operation of ships or aircraft in international traffic carried on by an enterprise of a Contracting State shall be taxable only in that Contracting State.	Article 7	(7) Where profits include items of income which are dealt with separately in other Articles of this Convention, then the provi- sions of those Articles shall not be affected by the provisions of this Article.	(6) For the purposes of the preceding para- graphs, the profits to be attributed to the permanent establishment shall be determined by the same method year by year unless there is good and sufficient reason to the contrary.	(5) No profits shall be attributed to a permanent establishment by reason of the mere purchase by that permanent establish- ment of goods or merchandise for the enter- prise.	(4) Insofar as it has been customary in a Contracting State to determine the profits to be attributed to a permanent establish- ment on the basis of an apportionment of the total profits of the enterprise to its various parts, nothing in paragraph (2) shall preclude that Contracting State from determining the profits to be taxed by such an apportionment as may be customary; the method of apportionment adopted shall be in accordance with the principles laid down in this Article.

配 る 企 業 保 係 係 係 当 (1)その企業の利得に算入して課税することができる。 その条件のために当該一方の企業の利得とならなかつたるのは、 る条件と異なる条件が設けられ又は課されるときは、 その商業上又は資金上の関係において独立の企業間に設けられ が であつて、そのいずれの場合においても、双方の企業の間に、 (b) (a) に支払う配当に対しては、 なかつたならば一方の企業の利得となつたはずである利得で、 経営、 しくは資本に直接若しくは間接に参加する場合又は 同一の者が一方の締約国の企業及び他方の締約国の企業の 一方の 方の締 支配若しくは資本に直接若しくは間接に参加する場合 第九条 締約国の企業が他方の締約国の企業の経営、 約国の居住者である法人が他方の締約国の居住者 当該他方の締約国においてのみ租 その条件 支配 若 (b) (a) Where State, or

ザンビアとの租税(所得)条約

(2)

(1)の規定は、

配当に充てられる利得につい

ての当該法人に

are paid.

of the profits out of which the dividends affect the taxation of the company in respect

(2) The provisions of paragraph (1) shall no

税を課することができる。

対する課税に影響を及ぼすものではない。

Article

8

第八条

- an enterprise of a Contracting State an enterprise of the other Contracting the management, control or capital of participates directly or indirectly in
- other Contracting State, or capital of an enterprise of a or indirectly in the management, control the same persons participate directly tracting State and an enterprise of the Con-

and taxed accordingly. included in the profits of that enterprise those conditions, have not so accrued, may be to one of the enterprises, but, by reason of would, but for those conditions, have accrued pendent enterprises, then any profits which from those which would be made between indecommercial or financial relations which differ imposed between the two enterprises in their and in either case conditions are made or

Article 9

of the other Contracting State shall be resident of a Contracting State to a resident (1) Dividends paid by a company which is a taxable only in that other Contracting State.

六四七

ザ
\sim
ビ
7
٤
\mathcal{O}
租税
(所得)
)条約

れるものをいう。であるにおいて「配当」とは、株式その他利得の分配を受。この条において「配当」とは、株式その他の券がから生ずる所得であつて分配を行なう法人が居住者にる権利(信用に係る債権を除く。)から生ずる所得及びその(3) この条において「配当」とは、株式その他利得の分配を受

- 第六条の規定が適用される。 る恒久的施設を有する場合には、適用しない。この場合には、の配当の支払の基因となつた株式又は持分と実質的に関連すその配当を支払う法人が居住者である他方の締約国内に、その(1)の規定は、一方の締約国の居住者である配当の受領者が、
- (5)又は所得を取得する場合には、 当 配 の法人の留保所得については、 他方の締約国内で生じた利得又は所得から成るときも、 |該留保所得に対して留保所得税を課することができない。 「当に対していかなる租税をも課することができず、また、 が当該他方の締約国の居住者でない者に支払う配当及びそ _ 方の 締 |約国の居住者である法人が他方の締約国から利 これらの全部又は一部が当該 当該他方の締約国は、 その法 当該 得

第十条

ことができる。
(1) 一方の締約国内で生じ、他方の締約国において租税を課する

a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State, of which the company (3) The term "dividends" as used in this apply if the recipient of the dividends, being State of which the company making the distrishares by the taxation law of the Contracting corporate rights assimilated to income from in profits, as well as income from other Article means income from shares or other effectively connected. virtue of which the dividends are paid is nent establishment with which the holding by paying the dividends is a resident, a perma-(4) The provisions of paragraph (1) shall not bution is a resident. rights, provisions of Article 6 shall apply. not being debt-claims, participating In such a case, the

(5) Where a company which is a resident of a Contracting State derives profits or income from the other Contracting State, that other Contracting State may not impose any tax on the dividends paid by the company to persons who are not residents of that other Contracting State, or subject the company's undistributed profits to a tax on undistributed profits, even if the dividends paid or the undistributed profits consist wholly or partly of profits to income arising in that other Contracting State.

Article 10

(1) Interest arising in a Contracting State and paid to a resident of the other Contracting State may be taxed in that other Contracting State.

利

子

六四八

(6)	(5)		(3)	(2)
利子は、その支払者が一方の締約国又はその地方公共団体	適用しない。この場合には、第六条の規定が適用される。じた債権と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、領者が、その利子が生じた他方の締約国内に、その利子を生し、(1)及び(2)の規定は、一方の締約国の居住者である利子の受	う。 う。 う。 う。 、この条において「利子」とは、公債、債券又は社債(担保 、この条において「利子」とは、公債、債券又は社債(担保	する。 支払われるものについては、当該一方の締約国の租税を免除若しくは地方公共団体が所有する[[[[[]」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」	とする。 租税の額は、当該利子の金額の十パーセントをこえないものその締約国の法令に従つて租税を課することができる。その10の利子に対しては、当該利子が生じた締約国において、
(6) Interest shall be deemed to arise in a Contracting State when the payer is that	(5) The provisions of paragraphs (1) and (2) shall not apply if the recipient of the interest, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the interest arises a permanent establishment with which the debt-claim from which the interest arises is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply.	(4) The term "interest" as used in this Article means income from Government securities, bonds or debentures, whether or not secured by mortgage and whether or not carrying a right to participate in profits, and debt-claims of every kind, and any excess of the amount repaid in respect of such debt-claims over the amount lent, as well as all other income atsinilated to income from money lent by the taxation law of the Con- tracting State in which the income arises.	(3) Notwithstanding the provisions of para- graph (2), interest arising in a Contracting State and paid to the Government of the other Contracting State or local authority thereof or any agency or instrumentality (including financial institution) wholly owned by that Government or local authority shall be exempt from tax of the first-mentioned Contracting State.	(2) However, such interest may be taxed in the Contracting State in which it arises, and according to the laws of that Contracting State, but the tax so charged shall not exceed 10 per cent of the gross amount of the interest.

六四九

使 用 料

and

(7)(2)(1)て、 当該恒久的施設について生じ、 とされる。 する締約国内で生じたものとされる。 施設が負担するときは、その利子は、 有する場合において、 あるかどうかを問わない。)が一方の締約国内に恒久的施設を 若しくは居住者である場合には、 らば支払者及び受領者が合意するとみられる金額をこえると なつた債権を考慮する場合において、その関係がなかつたな Ø 分に対し、 てのみ適用する。この場合には、 きは、この条の規定は、 その租税の額は、 る る 5 関係により、支払われた利子の金額が、その支払の基因と 使用 ものとする。 締約国の法令に従つて租税を課することができる。 支払者と受領者との間又はその双方と第三者との間の特 (1)の使用料に対し ことができる。 一方の締約国内で生じ、 その締約国の法令に従つて租税を課することができる。 料に対しては、 第十 ただし、 · 一 条 この条約の他の規定に妥当な考慮を払つたうえ、 当該使用料の金額の十パーセントをこえな 利子の支払者(一方の締 しては、 その利子を支払う基因となつた債務が 当該他方の締約国にお その合意するとみられる金額につい 他方の締 当該使用料が生じた締約国におい かつ、その利子を当該恒久的 その締約国内で生じたもの 支払われた金額のうち超過 約国の居住者に支払われ 当該恒久的施設が存在 約国の居 Sて租税を課す 住者で 別 which the interest is paid was incurred, and connection with which the indebtedness on Where, however, the person paying the or a resident of that Contracting State. establishment, then such interest shall be such interest is borne by such permanent ing State a permanent establishment in Contracting State or not, has in a Contractinterest, whether he is a resident of a of the interest paid, both of them and some other person, which the permanent establishment is situated. deemed to arise in the Contracting State in excess part of the payments shall remain absence of such relationship, the proviby the payer and the recipient in the amount which would have been agreed upon debt-claim for which it is paid, exceeds the between the payer and ing State may be taxed in that other Conand paid to a resident of the other Contract-(1) Royalties arising in a Contracting State other provisions of this Convention. tracting State, due regard being had to the taxable according to the law of each Conlast-mentioned amount. sions of this Article shall apply only to the (7) Where, owing to a special relationship tracting State. royalties. State, but the tax so charged shall not exceed according to the laws of that Contracting the Contracting State in which they arise, (2) However, such royalties may be taxed in 10 per cent of the gross amount of the Article having regard to the the recipient or between In that case, 1 the amount the

六五〇

Contracting State itself, a local authority

ザンビアとの租税

(所得)

条約

の関係により、支払われた使用料の金額が、その支払の基因(6) 支払者と受領者との間又はその双方と第三者との間の特別	(5) 使用料は、その支払者が一方の締約国又はその地方公共団(5) 使用料は、その支払者が一方の締約国内で生じたものとする。(1) ただし、使用料の支払者(一方の締約国内で生じたものとされる。ただし、使用料の支払者(一方の締約国内に恒久的施 (5) 使用料は、その支払者が一方の締約国内に恒久的施 (5) 使用料は、その支払者が一方の締約国又はその地方公共団	通用される。 通用される。 (4) (1)及び(2)の規定は、一方の締約国内に、その規定が 適用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、適用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が する場合には、通用しない。この場合には、第六条の規定が	(3) この条において「使用料」とは、文学上、美術上若しくは、3) この条において「使用料」とは、文学上、美術上若しくは使用の権利の対価として、産業上、商業を指しくは使用の権利の対価として、産業上、商業上で (1) この条において「使用料」とは、文学上、美術上若しくは
(6) Where, owing to a special relationship between the payer and the recipient or between both of them and some other person, the amount of the royalties paid, having	(5) Royalties shall be deemed to arise in a Contracting State when the payer is that Contracting State itself, a local authority or a resident of that Contracting State. Where, however, the person paying the royalties, whether he is a resident of a Contracting State or not, has in a Contracting State a permanent establishment in connection with which the liability to pay the royalties was incurred, and such royalties are borne by such permanent establishment, then such royalties shall be deemed to arise in the Contracting State in which the permanent is situated.	(4) The provisions of paragraphs (1) and (2) shall not apply if the recipient of the royalties, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the royalties arise a permanent establishment with which the right or pro- perty giving rise to the royalties is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply.	(3) The term "royalties" as used in this Article means payments of any kind received as a consideration for the use of, or the right to use, any copyright of literary, artistic or scientific work including cinema- tograph films, any patent, trade mark, design or model, plan, secret formula or process, or for the use of, or the right to use, indus- trial, commercial, or scientific equipment, commercial or scientific experience.

六五一